

キャラクター名
高塚隆一(タカツカリウイチ)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	探偵	カヴァー	高校生
	パロール					
オプション			年齢	18	性別	男性
覚醒	探求	衝動	解放	初期侵食率	36	%
出自	権力者の血統	経験	海外生活	邂逅	家族	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	1	0	0			1	行動値	11
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	11
精神	4	1	2			7	戦闘移動	16
社会	1	0	1			2	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	2	
運転：二輪	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	4	
運転：			芸術：			知識：伝承	3		情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ムーンフォース	RC	7r+4		9		《CR:ウロボロス》+《原初の赤:振動球》+《黒の鉄槌》単体 浸食7
100%以上	RC	10r+4		12+浸蝕率/10		《CR:ウロボロス》+《原初の赤:振動球》+《黒の鉄槌》+《背教者の王》単体 浸食11
影の浸蝕【シャドウ・コラプション】	RC	7r+4				《CR:ウロボロス》+《無形の影》

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
バイク	
コネ:手配師	
情報収集チーム	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
奇妙な隣人	P 友情	N 疎外感		
テレーズ・ブルム	P 尽力	N 無関心		
神城早月	P 信頼	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
CR:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値-Lv							
無形の影	1	4	メジャー	-	-	-	-	
効果：	あらゆる判定に組み合わせられその判定を【精神】で行える。							
黒の鉄槌	3	1	メジャー	視界	-	対決		
効果：	射撃、ダメージ+Lv×2+2							
原初の赤:振動球	1	4	メジャー	視界	-	対決		
効果：	装甲無視、ダメージ+Lv							
背教者の王	1	4	メジャー	-	-	対決	100%	
効果：	ダメージ+浸蝕率/10 1シナリオでLv回使用可能。							
オリジン:レジェンド	3	2	マイナー	至近	自動	-	RB	
効果：	【精神】の判定の達成値+Lv×2							
ディメンションゲート	1	3	メジャー	至近		自動		
効果：	遠く離れた場所に繋がるゲートを生み出す。							
帝王の時間	1	-	メジャー	至近	自身	自動		
効果：	自分以外の周囲の時間を操作する。							
ポケットディメンション	1	-	メジャー	至近		自動		
効果：	空間を捻じ曲げて、あり得ないはずの空間を作り出す。							
まだらの紐	1	1	メジャー	視界				
効果：	影に知覚能力を持たせ操る。							
イージーフェイカー:プロファイリング	1	-	メジャー	至近	自身	自動		
効果：	少しの情報から真実を導き出す。							
効果：								
効果：								
効果：								

戦前から存在する政治家の名家高塚家の跡取り息子。冷静沈着を心掛けているが、基本的に利益よりも情を優先して動くタイプ。成績優秀な高校生であるが裏では血筋ゆえの才能を生かして身内限定の探偵をしている。ただ仕事というよりも趣味の側面が強い為捜査で掛かった経費以外の金銭は求めず報酬は何かしらの借りを作(情報提供など)に留めている。探偵としての腕は立ち、いくつも事件を解決に導いたが如何せん身内限定の為一般的な知名度は余りないが警察などではそこそこ名が知れている。父親の高塚皆成(タカツカカセイ)は現役の国会議員の重鎮、実はレネゲイド関連の情報も知っている人物でUGNの設立に協力した数少ない政治家の一人。当然隆一が覚醒するまでこのことは話すことはなかった。現在親の仕事の関係上殆ど一人暮らしの状態になっていて母親も物御心着く前に無くになっている。親子の中は良好で捜査に力を貸して貰うこともしばしば。覚醒の切っ掛けは知り合いが開いた博物館の展示品が盗難に遭い犯人の捜査の結果アジトを発見し潜入したのだがそこはFHのアジトでありレネゲイドビーイングの研究をしていた研究所でもあった。潜入の過程でレネゲイドの事を知るが自身がARの体質だと気づきそのまま続行結果彼らが神や女神関係の物品を集め複数の神の要素を掛け合わせて人工的な女神を作り出す計画「プロジェクト: Intelligence Venus(インテリジェンスヴィーナス)」の情報を掴み阻止に動くがその研究所で作られたRBのコアを奪取したところで潜入が発覚殺されかけるが一か八かそのRBの器になることに掛けコアを飲み込み無理やりRBを起動させ、オーヴァードに覚醒した。覚醒そうそう一体化したRBに文句言われつつFHを撃退し研究所を叩き潰したが人工女神であるRBのことを隠す為父親に頼み込み自身が関わった記録を抹消して貰っている。其の為現在の組織にも知られてはいない(父親は例外)が父親と相棒となったRBからレネゲイドの話を聞いたことはいずれどこかの組織に所属しなければならないことを考えると頭を悩ます日々を過ごしている。相棒のRBはサラスヴァティー、レヴィアタン、アルテミスの要素を合わせて作られていた隆一が命名した「メルトリリス」を名乗っている。コアは隆一の心臓と融合しているのだが彼の近くという条件は付くが少女の幻影を作り出し現実世界に干渉可能。幻影は一般人には見えないがオーヴァードには視認が可能である。テレーズ・ブルムとは親同士が友人関係だったということもあり幼い頃海外に行く父親についていって良く会い遊んだり勉強したりしている中で現在も親交が続いている。神城早月はずっと付き合いが長く祖父の代からの付き合いであり、二人も家族ぐるみの付き合いで幼い頃一緒に旅行に行ったりしていたが現在は神城早月の置かれている状況が状況の為探偵としての力も良く振るっていながら彼女を心配している。この二人と隆一はお互いがレネゲイドに関わっていることはまだ知らないが少なくとも彼は気にしないだろう、彼にとって彼女達がどれだけ変わろうとも友人以外の何物でもなく、それ以外興味も無いのだから。